

放射性物質環境動態・環境および生物への影響に関する学際共同研究 2017年度年次報告会

日時：2018年2月22・23日

場所：筑波大学総合研究棟A

2月22日（木）

特別セミナー

16:40 Rosella Rusconi(イタリアロンバルディア州環境放射線防護センター)
Risk management and Determination, subjected to radioactive materials in the water.

懇親会

18:20～

2月23日（金）

共同研究代表挨拶・諸連絡

8:50 恩田裕一（筑波大学）

研究成果口頭発表

セッション1（座長：山崎信哉）

- 9:00 阿部善也（東京理科大学）帰還困難区域の土壤中に残留する放射性物質の正体解明
- 9:15 Ismail Md. Mofizur Rahman（福島大学）Application of biodegradable chelators for the removal of strontium or its geochemically-related elements from soils.
- 9:30 野田祐作（農業・食品産業技術総合研究機構）高Na耐性を示すVigna属野生種を用いたCs吸収・蓄積機構の解明
- 9:45 佐藤志彦（日本原子力研究開発機構）放出源推定のためのセシウム同位体比分析と課題
- 10:00 二宮和彦（大阪大学）福島第一原子力発電所事故に由来した土壤中の放射性ストロンチウム移動度決定
- 10:15 栗原モモ（産業技術総合研究所）リター層におけるセシウムの移動
- 10:30～10:40 休憩

セッション2（座長：高橋純子）

- 10:40 田中万也（日本原子力研究開発機構）森林における放射性セシウムの化学状態の解明
- 10:55 辻英樹（国立環境研究所）林内雨サンプルの保管による溶存態放射性セシウム濃度の挙動評価と溶存態セシウム現場濃縮装置の改良
- 11:10 脇山義史（福島大学）除染が斜面スケールでの土砂および ^{137}Cs の動態に及ぼす影響
- 11:25 Aleksei Konoplev（福島大学）Long-term dynamics of dissolved and particulate radiocesium in rivers of Chernobyl and Fukushima contaminated areas.

セッション3（座長：篠崎鉄哉）

- 11:40 山口直文（茨城大学）波浪による底質の巻き上げにおける含有泥質堆積物の影響
- 11:55～12:00 写真撮影
- 12:00～12:50 昼食

セッション4（座長：田副博文）

- 12:50 熊本雄一郎（海洋研究開発機構）海域モニタリング試料等を利用した福島第一原発事故後4カ月以内の放射性セシウムの動態再現
- 13:05 青山道夫（福島大学）日本沿岸域における東電福島原発事故起源放射性セシウムとトリチウムの挙動の比較検討
- 13:20 津旨大輔（電力中央研究所）福島第一原子力発電所事故によって海洋に放出された放射性物質の挙動—河川供給の影響—
- 13:35 真塩麻彩実（金沢大学）医療系廃棄物として水圏環境へ放出される白金，ガドリニウム，テクネチウム-99 分析法の確立

セッション5（座長：岩岡和輝）

- 13:50 阿部悠（福島県立医科大学）染色体凝縮阻害剤を用いた新規細胞遺伝学的線量評価法の確立
- 14:05 苅部甚一（茨城大学）請戸川流域における福島第一原子力発電所事故に由来する放射性ストロンチウムの空間分布の解明
- 14:20 宇都宮聡（九州大学）高濃度放射性セシウム含有微粒子（Cesium-rich microparticle, CsMP）の本質的解明に基づく炉内の情報と環境影響

ポスター発表

14:35~15:40

総合討論・諸連絡

15:40~15:50

閉会挨拶

15:50 山田正俊（弘前大学）

ポスター発表

- AF1 北和之（茨城大学）大気への放射性セシウム再飛散へのキノコ胞子の寄与と植物への移行可能性
- AF2 内藤健（農業・食品産業技術総合研究機構）RI イメージングを使った Vigna 属野生種の耐塩性機構の解析
- AF3 竹中千里（名古屋大学）コシアブラにおける元素吸収機構の解明 —アーバスキュラ—菌根菌に着目して—
- AF4 大槻勤（京都大学）放射性セシウムを含んだエアロゾル成長過程に関するメカニズム
- AF5 頼泰樹（秋田県立大学）イネのセシウム吸収経路の全容解明
- AF6 松中哲也（金沢大学）河川における懸濁物質の I-129/Cs-137 比と濁度の関連性
- AY1 張子見（大阪大学）イメージングプレート画像分析による環境試料上に不均一に分布する放射性セシウムの定量プログラムの開発
- BF1 吉村和也（日本原子力研究開発機構）市街地における放射性セシウムの流出調査
- BF2 谷口圭輔（福島県環境創造センター）福島県内外の河川における放射性セシウムの形態別濃度
- BF3 久保田富次郎（農業・食品産業技術総合研究機構）帰還困難区域内のため池集水域における放射性 Cs の流出特性
- BF4 保高徹生（産業技術総合研究所）溶存態放射性セシウムの起源を探る
- BF5 田林雄（関東学院大学）森林生態系の渓流域における放射性セシウムの長期変化
- BI1 Xinchao Sun (Tianjin University) Nitrate deposition processing of rainfall in forest canopies by using nitrogen and oxygen isotopic composition.
- BI2 Lissak Candide (Caen Normandy University) Diversion of remote sensing techniques to estimate the quantity of available radioactive material in Fukushima forest ecosystems.
- BI3 Sion Regan (University of Liverpool) Identifying riverbank with high vulnerability to erosion.

- GF1 伊藤芳樹（株式会社ソニック）ドップラーソーダによる乱流測定の季節依存性
- GI1 Olivier Masson (IRSN) Observation of atmospheric radioactive cesium and its wet deposition and modelling of resuspension and deposition processes
- DF1 本多牧生（海洋研究開発機構）福島沖海底堆積物の再懸濁と水平輸送過程の研究：捕集粒子の希土類元素濃度
- DF2 内山雄介（神戸大学）海洋および海底堆積層における懸濁態・溶存態放射性核種の再循環過程に関する解析技術の開発
- DF3 鄭建（放射線医学総合研究所）Establishing rapid analysis of Pu isotopes in seawater to study the impact of Fukushima nuclear accident in the Northwest Pacific
- DF4 立田穰（電力中央研究所）堆積物中の $^{137}\text{Cs}/^{210}\text{Pb}$ 濃度比による粒子起源の推定手法
- DF5 赤田尚史（自然科学研究機構）少量の環境水試料を対象とした低濃度トリチウム測定に関する検討
- DF6 張勁（富山大学）化学トレーサーを用いた海底湧水による放射性セシウムの沿岸海域への移行プロセス解明
- DF7 神田穰太（東京海洋大学）福島県沖堆積物における高セシウム粒子（石丸隆、伊藤友加里ほかとの共同発表：筆頭は石丸隆）
- DF8 猪股弥生（金沢大学）福島第一原子力発電所に由来する放射性セシウムの太平洋内部輸送量の評価
- DF9 真田哲也（北海道科学大学）北海道内の鉱泉水中ラドン濃度の測定と環境動態に関する研究
- DF10 齊藤敬（尚絅学院大学）3Dプリンタと3Dスキャナを利用したガンマ線測定用放射性セシウム基準線源の開発
- DF11 山形武靖（日本大学文理学部）トリプル四重極 ICP-MS を用いたヨウ素 129 の分析法の開発
- EF1 中田章史（北海道薬科大学）高線量汚染地域に生息するアカネズミの染色体を指標とした放射線影響評価
- EF2 鈴木正敏（東北大学）福島原発事故に被災した野生ニホンザル組織における放射線影響の解析